

福知山商工会議所主催で福知山市にて開催された「第17回福知山産業フェア」に、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所様の業務委託の一部として「ジオラマ模型を用いた水害再現」及び「河川氾濫体験VRアプリ『オソレル』」をコンテンツとして出展し、防災教育を実施しました。

当ブースには、お子様から大人の方まで延べ500名以上の方々にお越しいただきました。特に、過去に災害を経験された方々や親子で訪問された方々が、興味深くジオラマ模型での水害再現をご覧になったり、「オソレル」での避難体験を楽しんでくださった様子がとても印象的でした。

体験後に実施したアンケートでは、お子様目線の回答が多く寄せられ、「娘が模型を食い入るように見ておりました。」、「子供たちが夢中で見ていて勉強になりました。」、「子供たちにも分かりやすくしてくれてありがとうございました。」といった嬉しい感想をいただきました。ジオラマ模型やVRアプリを使うことで、幅広い世代の方々に防災について分かりやすくお伝えできたのではないかと感じています。

また、『防災に対する意識は変わりましたか？』という質問をしており、約90%の方が「向上した（良くなった）」と回答してくださいました。「災害に合わないよう日頃から気をつけていきたいし、連絡など家族で話し合うことも大事だと思う」といった具体的な感想をいただきました。今回の活動を通じて、防災意識を高めるきっかけを提供できたことに手ごたえを感じています。

今後もこのような活動を通じて、皆さまの防災意識を高めるお手伝いができればと考えています。



「ジオラマ模型を用いた水害再現」



河川氾濫体験VRアプリ「オソレル」による避難体験